



大学における 社会的実践力の育成

～地域連携の活用を含めた事例紹介～

気候変動や新型コロナウイルスをはじめとする危機的な課題が次々と立ちはだかる今、大学が、社会の課題を解決しつつ、社会づくりに参画する人々を育て、持続可能な社会の発展をリードしていくことの重要性は、ますます高まっている。

全国7キャンパスに約3万人の学生を擁する東海大学は、1942年の設立以来「人類の幸福と平和の実現に向かって、明日の歴史づくりを担う人材の育成」を教育理念とし、「自らの考えをもち、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、改善していく自主性や創造性」を育む重要性を謳ってきた。そのディプロマ・ポリシーには4つの「社会的実践力(自ら考える力、集い力、挑み力、成し遂げ力)」が掲げられ、地域社会と連携した教育・研究活動も幅広く展開されている。本シンポジウムでは、東海大学における取組をふたつの切り口から紹介したうえで、地域と連携しながら持続可能な社会の構築をけん引する大学教育のあり方について議論を深めたい。

日時

2021年7月3日(土) 13:30～15:30(予定)

場所

オンライン(日本環境学会第47回研究発表会A会場)

参加対象

学会会員に限らずどなたでも(事前申し込み必要)

参加費

無料

参加申込方法

日本環境学会第47回大会実行委員会(jaes2021@jaes.sakura.ne.jp)へ
「お名前・ご所属・連絡先(メールアドレス)」を送付してください
折り返し、参加するためのZOOMリンクをお送りします



参加申込〆切

2021年6月30日(水)

プログラム

司会: 日比慶久(東海大学スチューデントアチーブメントセンター)

13:30～ 開会・趣旨説明

13:40～ 講演(事例発表: 質疑応答含む)

発表1: 全学的正課教育と課外自主活動を通じた学生の社会的実践力育成
～東海大学パブリック・アチーブメント型教育とチャレンジプロジェクト～
二ノ宮リムさち・池谷美衣子(東海大学スチューデントアチーブメントセンター)

発表2: 地域連携の持続可能なしくみづくり～組織化事例紹介を中心に～
藤野裕弘他(湘南里川づくりみんなの会)

15:00～ 意見交換

主催 日本環境学会

共催 東海大学スチューデントアチーブメントセンター、湘南里川づくりみんなの会

後援 NPO法人東海大学地域環境ネットワーク

